

# 国境なき笑顔のために。

日本は、  
世界の平和と安定、そして繁栄のために、  
開発協力を進めています。

世界には、飢えや貧困だけでなく、  
環境・気候変動、水問題、大規模な自然災害、感染症、食料問題、エネルギーなど  
地球規模の問題も山のようにあります。

日本は、世界の平和と安定、そして繁栄のために、  
積極的に貢献することを目的に、開発協力を進めています。

世界の平和なくして、日本の平和は成立しません。

安定し繁栄した国際社会を構築していくことは、  
日本の国益と分かちがたく結びついています。

世界の一員の日本として、  
開発協力で信頼と存在感を。

世界からの期待に積極的に応えていくことは、  
国際社会で日本の信頼を培い、存在感を高めることになります。

また、グローバル化した国際社会と協力して、  
平和で安定し、繁栄した国際社会を作っていくことが、  
国民の生活を守り、繁栄を実現することにもつながっています。

このように、開発途上国の安定と発展に貢献することで  
理想的な国際環境を作り、

そのことを通じて、日本国民の利益にも貢献する開発協力は、  
まさに、日本の平和国家としての歩みそのものであり、

国際協調主義に基づく

「積極的平和主義」の実践なのです。



© JICA/今村 健志朗

## 開発協力の歴史

- 1954年 コロンボ・プランに加盟し、技術協力開始
- 1958年 円借款開始
- 1965年 青年海外協力隊創設
- 1974年 JICA(国際協力事業団、現:国際協力機構)設立
- 1987年 国際緊急援助隊の派遣に関する法律が成立
- 1989年 米国を抜き、トップドナーとなる
- 1992年 ODA大綱策定
- 1993年 TICAD(アフリカ開発会議)の開始
- 2003年 ODA大綱改定
- 2015年 開発協力大綱策定